

化学肥料低減実施報告書

作付概要

- ・秋肥・春肥の面積を統合して記入願います。
- ・面積上位の2品目を記載し、残りは「その他」にまとめてください。

作物名	作付面積
水稻	10
ネギ	2
その他	1
計	13

氏名(法人・組織名) ○○ ○○

住所 岩手県○○市○○△△-□□

電話番号 ×××-×××-××××

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は 令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	◎
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エトオ)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等を含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、 灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの 施肥量・肥料銘柄の見直し (ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		
総取組面積	12 ha	13 ha

- ・実際に取り組んだ項目に○を記載願います。
(低減計画書と同じ欄に○が付きます。)
- ・最低2つ以上記載してください。
- ・あわせて、取組の証拠書類について取組実施者に提出してください。

- ・低減計画書と同様に、右側にも2つ以上の○を記載し、最低1つは新規もしくは◎となるようにしてください。
(今回記載いただく今後の取組については、証拠書類の収集などはいりません。)